

大田区の交通に関わる区民アンケート結果について  
 (今年度実施した第3回調査結果の概要)

1. 満足度と重要度の得点化による取り組みの評価 (問5)

1) 「暮らし」の得点の散布図

・「暮らし」に関わる「施策の方向性」のうち、重要度が高く（重要度が全体・分野の平均得点を上回っている）、満足度が低い（満足度が全体・分野の平均得点を下回っている）ものに注目すると、「自転車を利用する環境の充実」、「歩行者重視の道路空間づくり」が該当する。

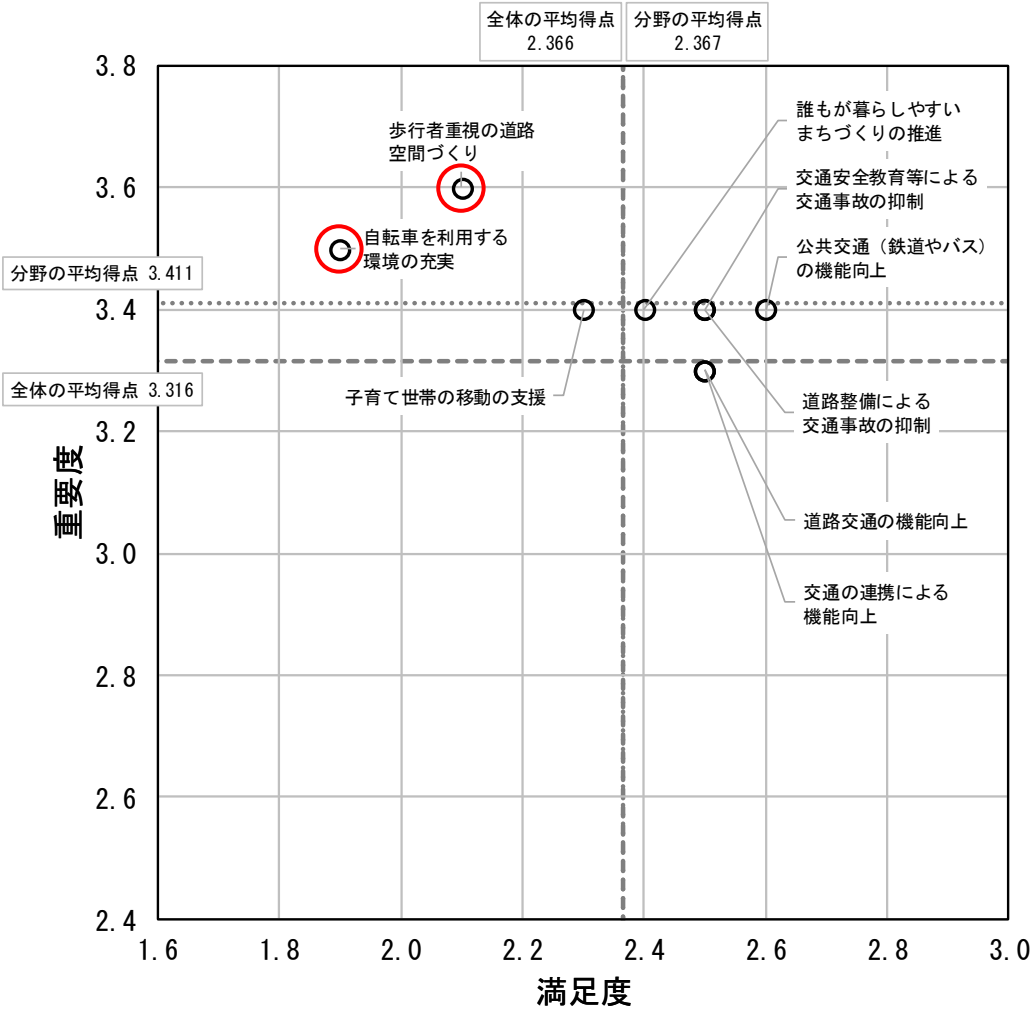


図1 「暮らし」の得点の散布図

※施策の満足度、重要度の得点化の方法

- ・ 施策の満足度の得点 = (満足の回答者数 × 4点 + やや満足の回答者数 × 3点 + やや不満の回答者数 × 2点 + 不満の回答者数 × 1点) / 対象項目の回答者数 (わからない、無回答を除く)
- ・ 施策の重要度の得点 = (重要な回答者数 × 4点 + やや重要な回答者数 × 3点 + あまり重要ではないの回答者数 × 2点 + 重要ではないの回答者数 × 1点) / 対象項目の回答者数 (わからない、無回答を除く)

2) 「都市の活力」の得点の散布図

- ・「都市の活力」に関わる「施策の方向性」のうち、重要度が高く、満足度が低いものに注目すると、「道路の防災性の強化」、「公共交通の防災性の強化」が該当する。

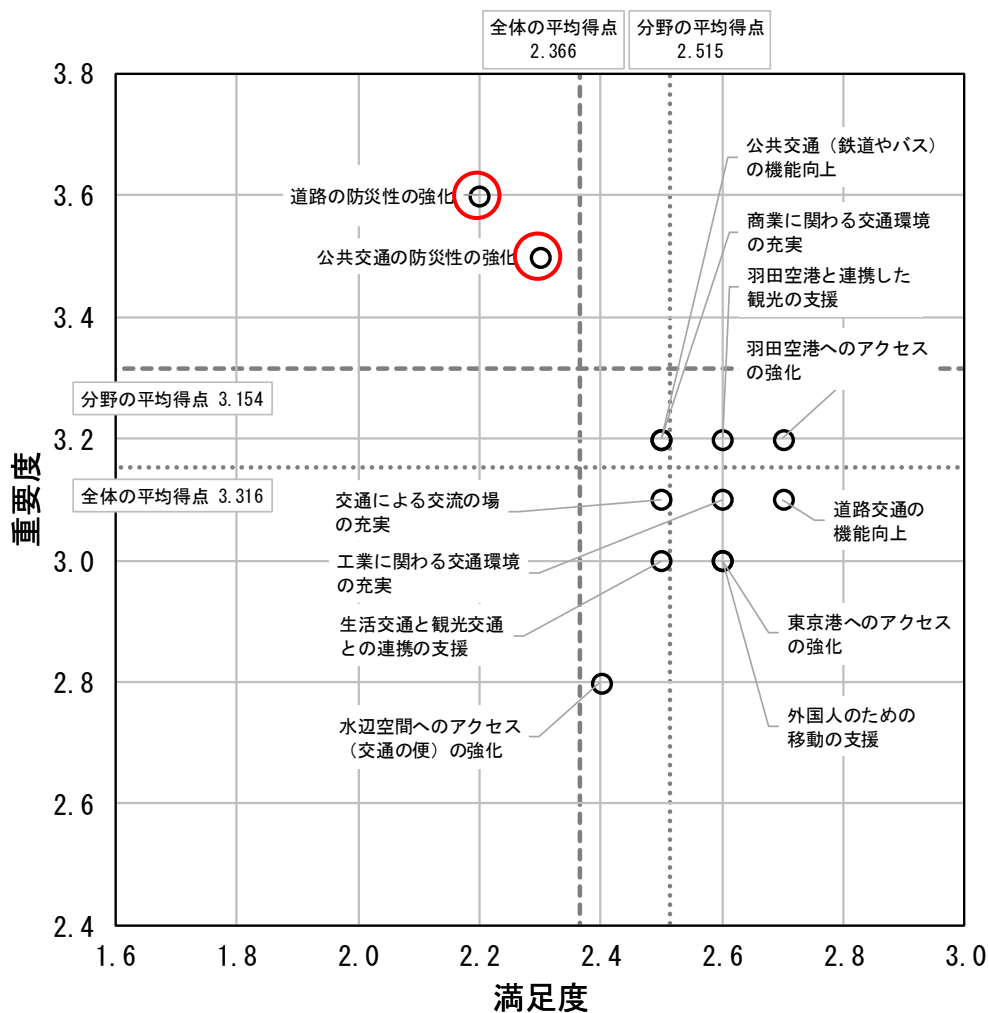


図 2 「都市の活力」の得点の散布図

2) 「環境」の得点の散布図

- ・「環境」に関わる「施策の方向性」のうち、重要度が高く、満足度が低いものに注目すると、  
「自転車を利用する環境の充実」、「ヒートアイランド現象の改善(都市の夏の気温を下げる)」、  
「歩行環境の改善」、「交通手段の転換等による環境負荷の低減」、「交通に関わる環境の保全対策」が該当する。

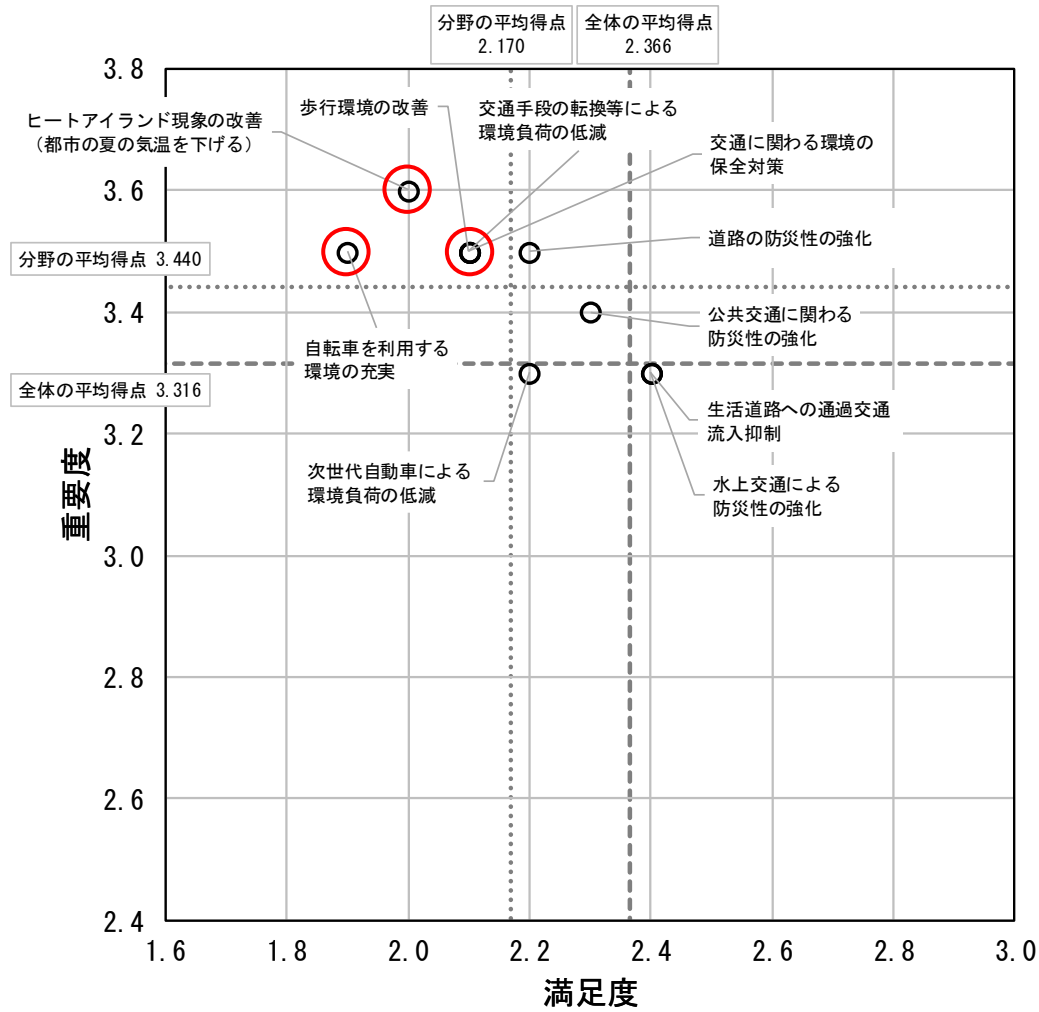


図3 「環境」の得点の散布図

## 2. 特に重要だと思う施策の方向性（問6）

### 1) 特に重要な「暮らし」に関わる「施策の方向性」（得点化による比較）

- ・特に重要な「施策の方向性」について比較を行うため、加重平均により得点化し分野ごとに比較した。
- ・分野別平均得点を比べると、【暮らし】分野（5.7）は、【環境】分野（5.0）、【都市の活力】分野（3.8）より高く、【都市の活力】分野との差は1.9ポイントと大きい。
- ・個々の「施策の方向性」についてみると、「自転車を利用する環境の充実」（9.2）、「歩行者重視の道路空間づくり」（8.1）、「誰もが暮らしやすいまちづくりの推進」（7.9）、「公共交通（鉄道やバス）の機能向上」（6.6）、「交通の連携による機能向上」（6.0）の重要度が高い。

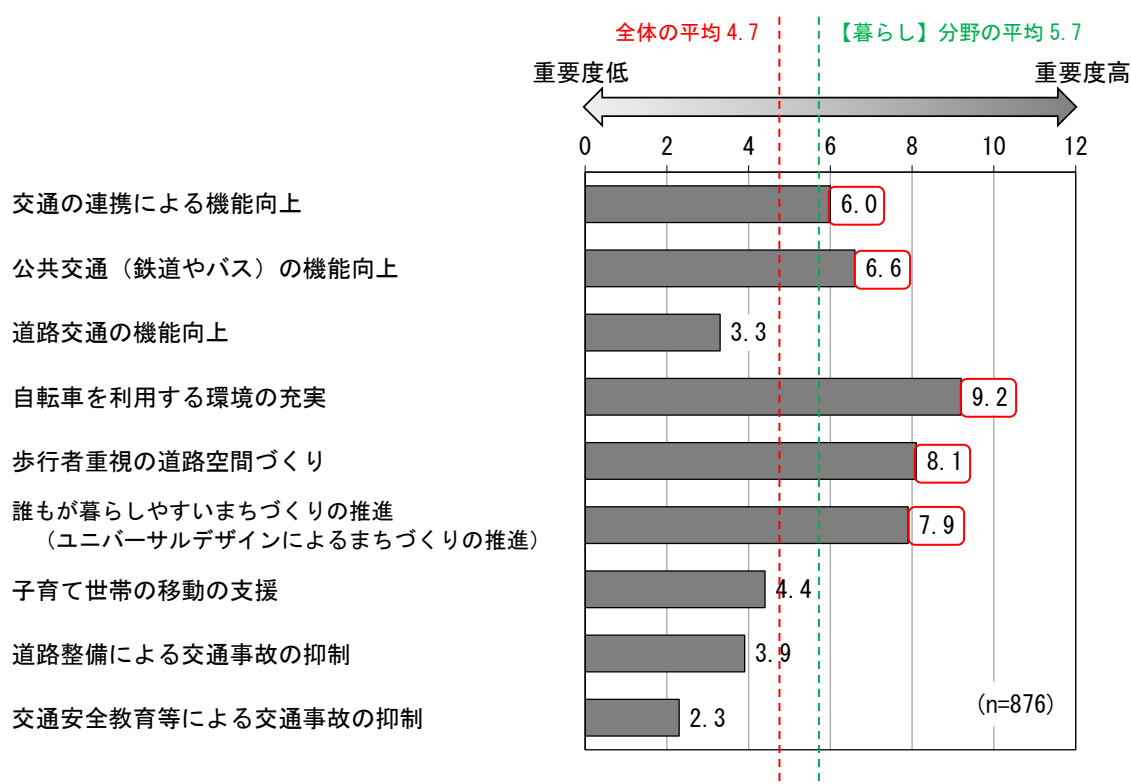


図 4 特に重要な「施策の方向性」の得点【暮らし】

※特に重要な「施策の方向性」の得点化の方法

- ・特に重要な得点 = (最も重要な回答者数 × 3点 + 2番目に重要な回答者数 × 2点 + 3番目に重要な回答者数 × 1点) × 10 / 全回答者数

※重要度が高い：それぞれの施策の方向性について、分野ごとの平均と全体の平均を集計してこの2つの平均よりも得点が高いものを「特に重要度が高い」とした。

2) 特に重要な「都市の活力」に関わる「施策の方向性」(得点化による比較)

- ・分野別平均得点を比べると、【都市の活力】分野(3.8)は、【暮らし】分野(5.7)、【環境】分野(5.0)より1.0ポイント以上低い。
- ・個々の「施策の方向性」についてみると、「道路の防災性の強化」(11.4)の得点が飛び抜けて高く、他には「商業に関わる交通環境の充実」(5.8)、「公共交通(鉄道やバス)の機能向上」(5.2)、「公共交通の防災性の強化」(5.1)、「交通による交流の場の充実」(4.9)の重要度が高い。

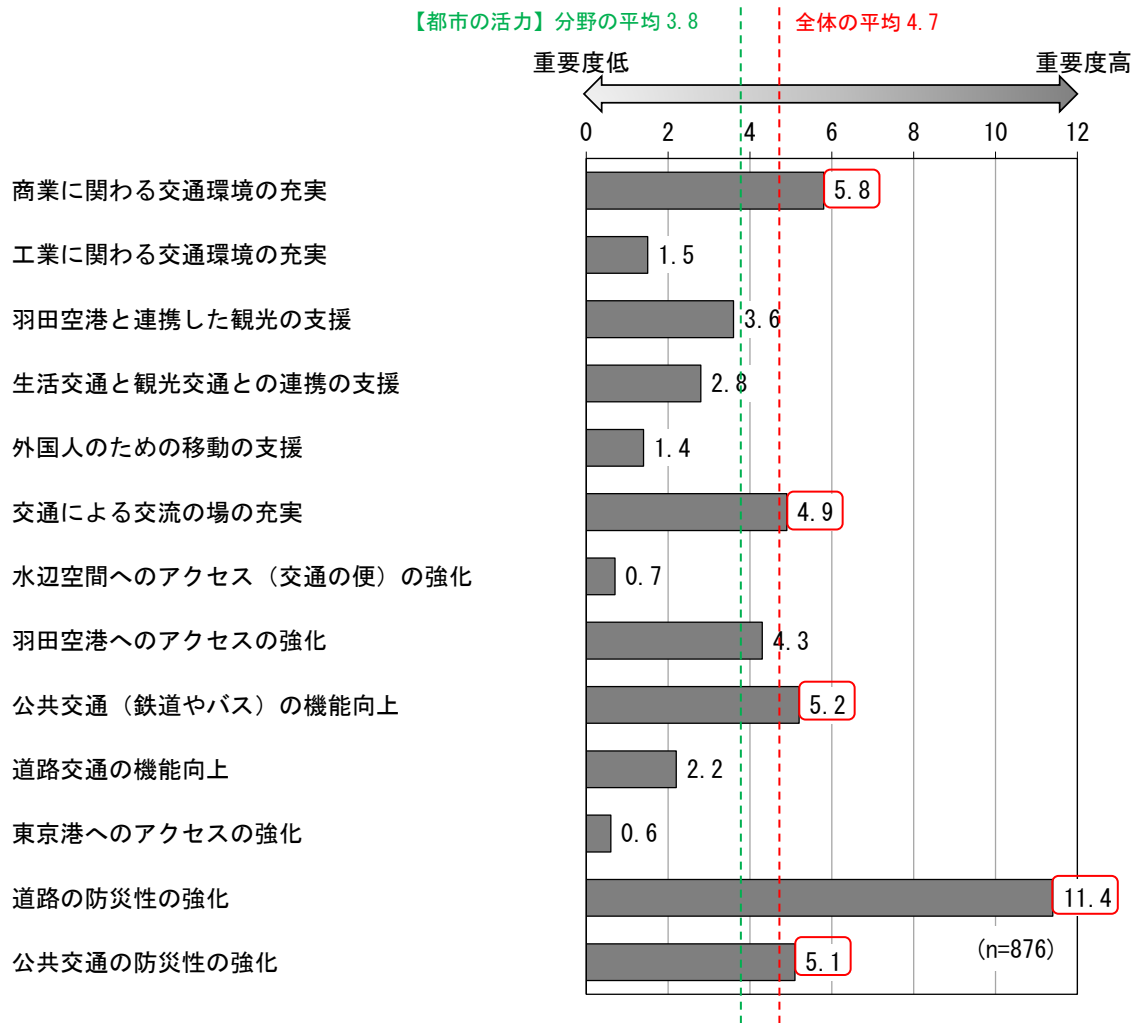


図 5 特に重要な「施策の方向性」の得点【都市の活力】

### 3) 特に重要な「環境」に関わる「施策の方向性」(得点化による比較)

- ・分野別平均得点を比べると、【環境】分野(5.0)は全体の平均(4.7)に近く、【暮らし】分野(5.7)より低く、【都市の活力】分野(3.8)より高い。
- ・個々の「施策の方向性」についてみると、「ヒートアイランド現象の改善(都市の夏の気温を下げる)」(8.6)、「歩行環境の改善」(8.2)、「自転車を利用する環境の充実」(7.2)、「交通手段の転換等による環境負荷の低減」(6.1)、「道路の防災性の強化」(5.2)の重要度が高い。

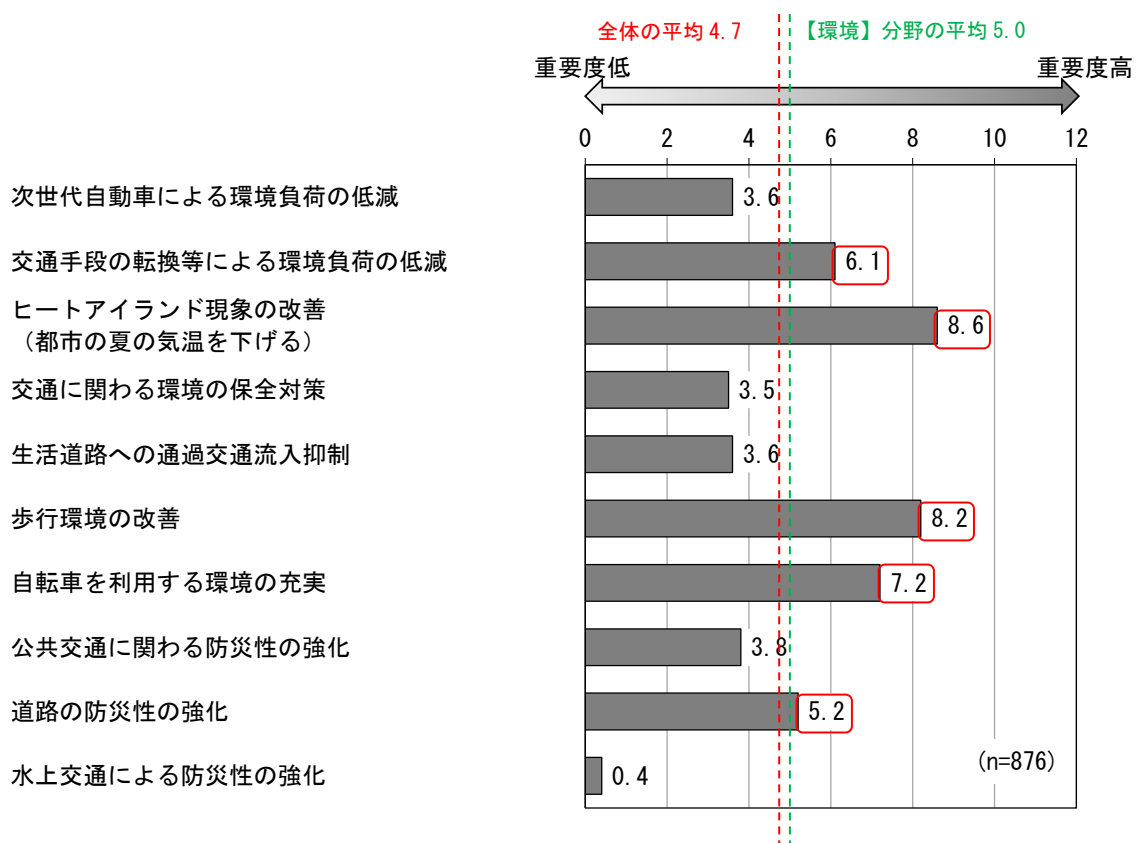


図 6 特に重要な「施策の方向性」の得点【環境】

第2回調査結果との比較は、今後精査（見直し）予定です。

### 3. (参考) 施策の重要度 (第2回アンケートでの重要度との比較) (問5)

#### 1) 暮らし

- ・今回調査での「施策の方向性」について、重要度（第2回調査では取り組むべき施策）の比較を行うため、加重平均により得点化し分野ごとに比較した。
- ・第2回調査と比較すると、得点が2ポイント以上高くなった「施策の方向性」は、「道路交通の機能向上」(3.1⇒3.3)、「子育て世帯の移動の支援」(3.2⇒3.4)、「交通安全教育等による交通事故の抑制」(3.1⇒3.4)である。

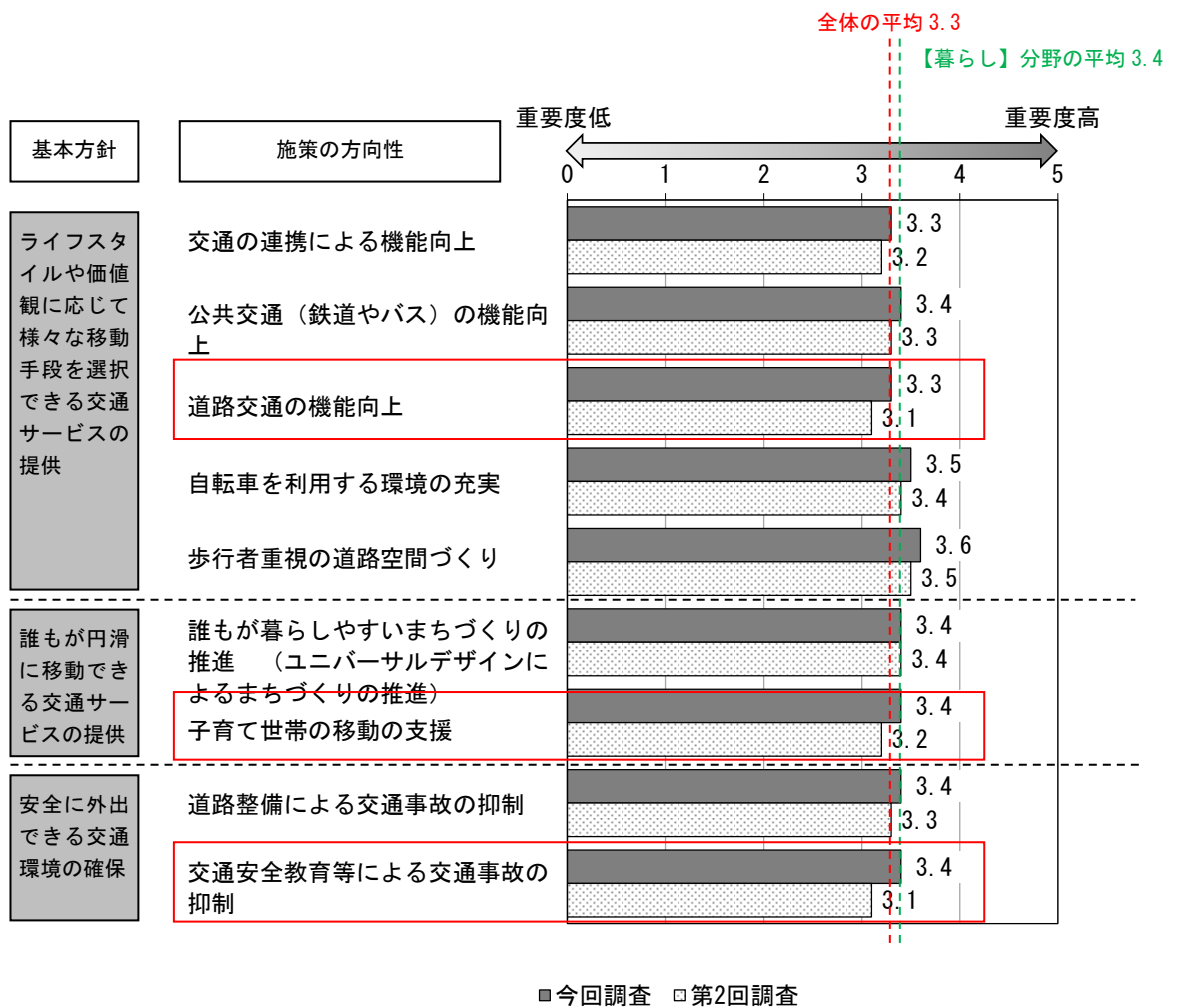


図 7 第2回調査と今回の調査結果の「暮らし」に関わる施策の方向性の重要度の比較

※第3回区民アンケート（令和4年度実施）の結果を「今回調査」、第2回区民アンケート（平成29年度実施）の結果を「第2回調査」と表記する。（以下同様）

## 2) 都市の活力

・「都市の活力」についても得点化して分野ごとに第2回調査と比較すると、得点が2ポイント以上高くなった「施策の方向性」は、「商業に関わる交通環境の充実」(3.0⇒3.2)、「工業に関わる交通環境の充実」(2.8⇒3.1)、「道路交通の機能向上」(2.9⇒3.1)、「東京港へのアクセスの強化」(2.8⇒3.0)である。

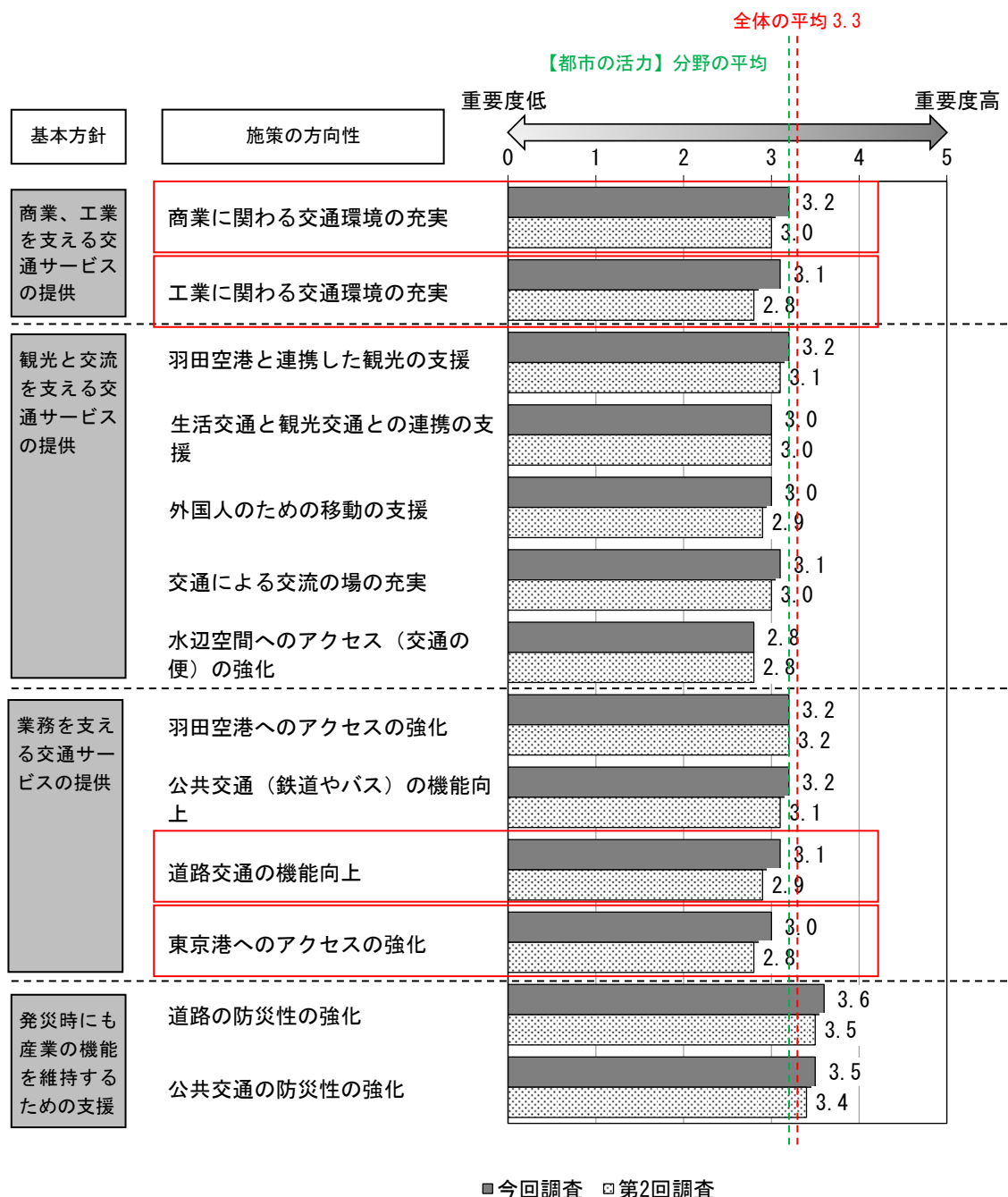


図 8 第2回調査と今回の調査結果の「都市の活力」に関わる施策の方向性の重要度の比較



### 3) 環境

・「都市の活力」についても得点化して分野ごとに第2回調査と比較すると、得点が2ポイント以上高くなった「施策の方向性」は、「ヒートアイランド現象の改善」(3.4⇒3.6)、「交通に関わる環境の保全対策」(3.3⇒3.5)、「生活道路への通過交通流入抑制」(3.1⇒3.3)、「水上交通による防災性の強化」(3.1⇒3.3)である。

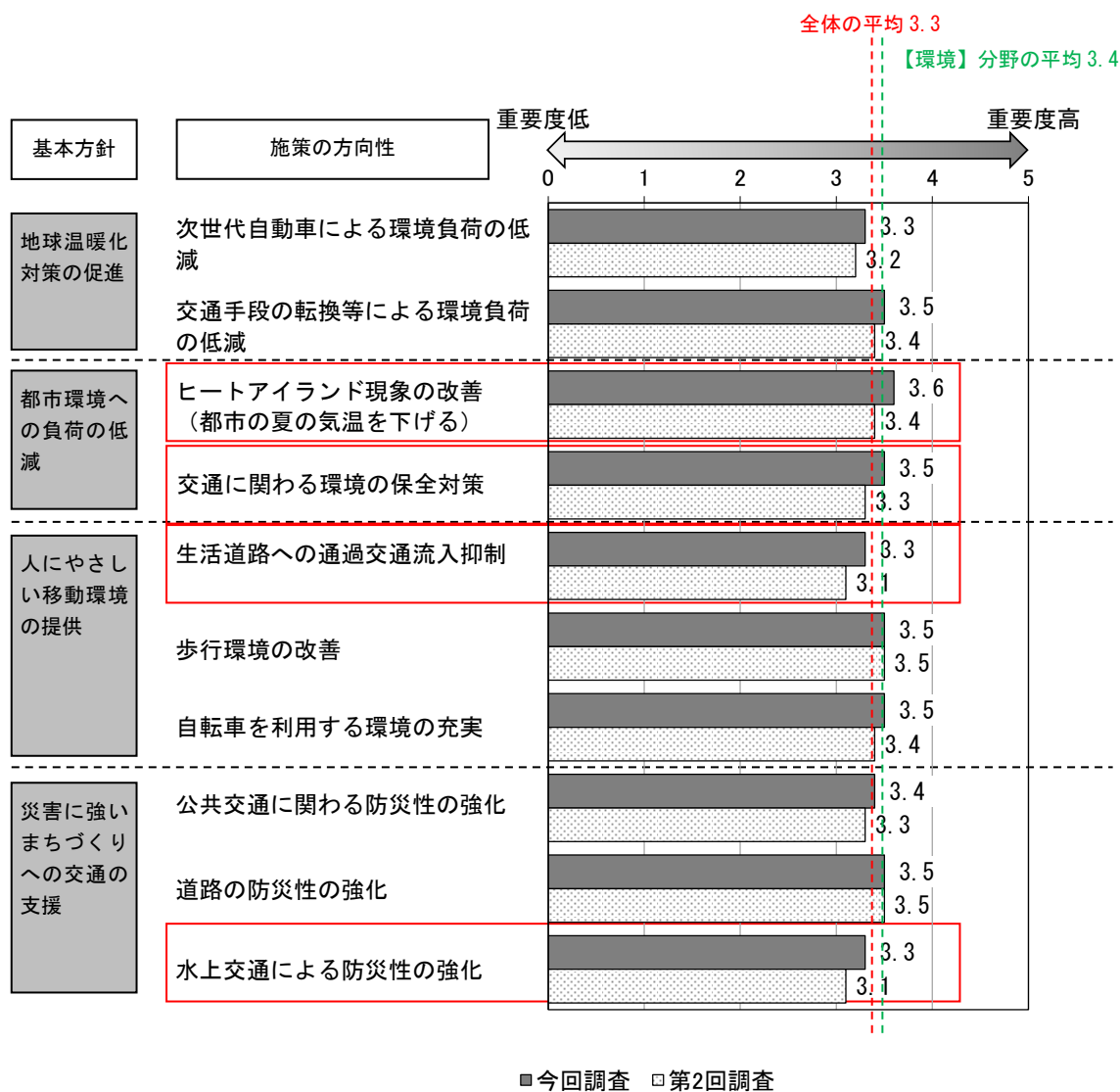
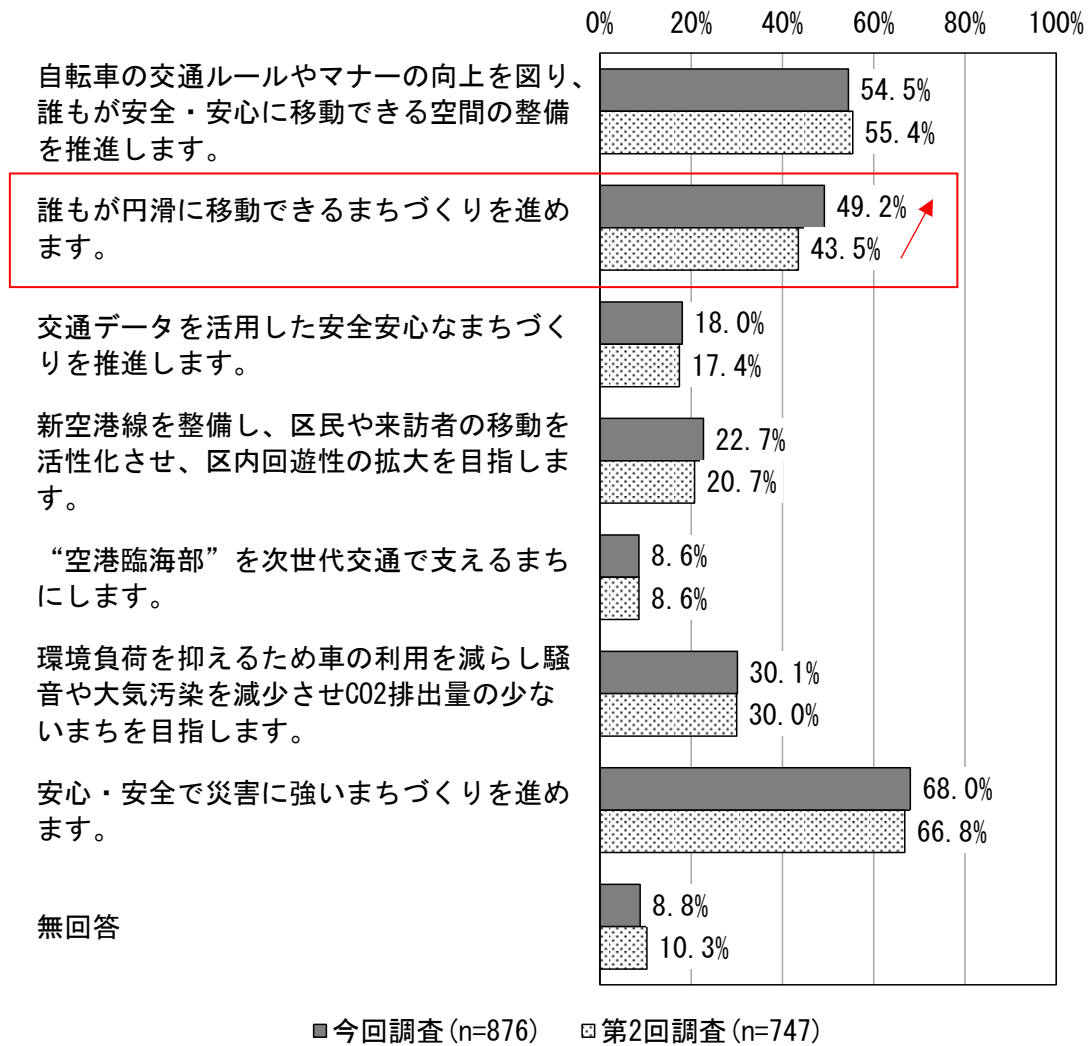


図 9 第2回調査と今回の調査結果の「環境」に関わる施策の方向性の重要度の比較

第2回調査結果との比較は、今後精査（見直し）予定です。

#### 4. リーディングプロジェクトについて（問8）

- ・特に力を入れるべきリーディングプロジェクトについて、第2回調査の結果と比較すると、全体の傾向は大きく変わらないが、中でも「誰もが円滑に移動できるまちづくりを進めます。」の回答割合が増加している。
- ・このことから、現行計画策定時よりも高齢社会が進展したことで、「誰もが円滑に移動できるまちづくりを進めます。」がさらに求められていることがうかがえる。



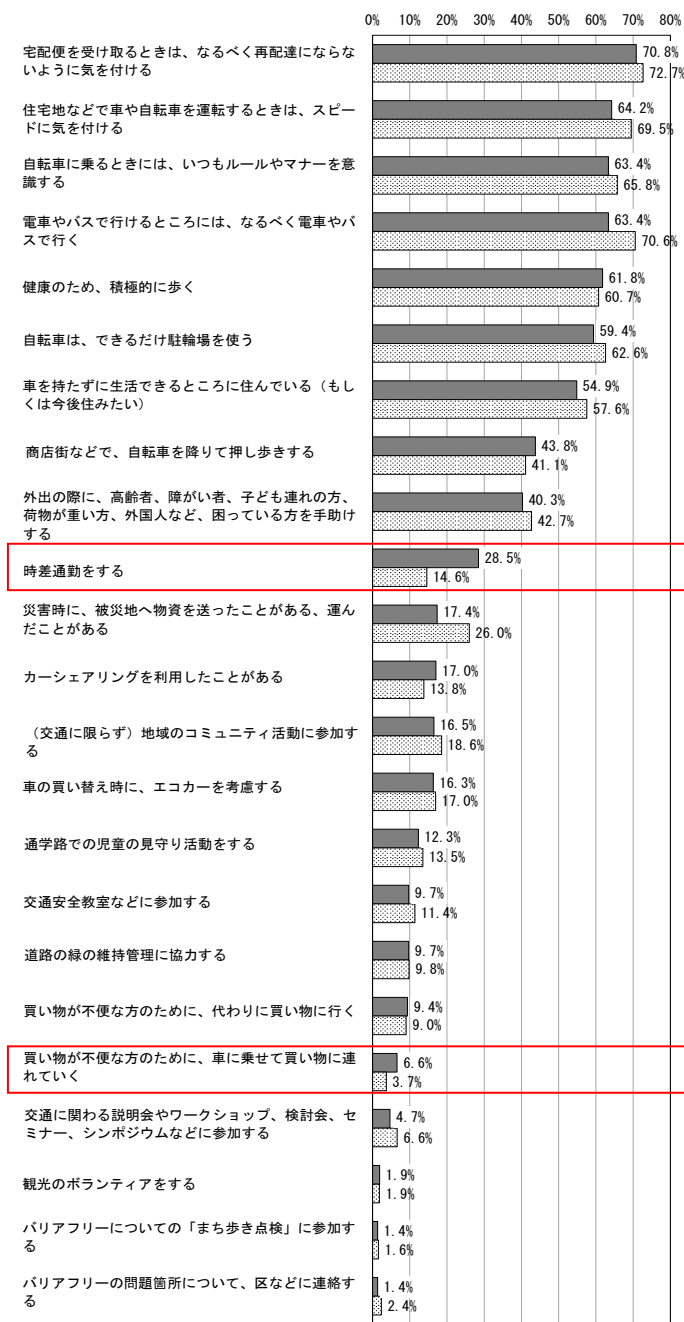
※ 1人で3つ以上回答した場合もすべて反映している。

図 10 特に力を入れるべきリーディングプロジェクト（第2回調査との比較）

## 5. 交通に関わる取り組みや行動（区民の参加）について（問9）

### 1) 交通に関わる取り組みへの参加や行動について

- ・交通に関わる取り組みについて、何らかの参加や行動のあった方を対象に（つまり無回答者を除いて）集計をすると、全体的に、第2回アンケート調査結果に比べて、概ね各項目とも参加や行動した割合は低い。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生活の変化により、「時差通勤をする」は第2回アンケート調査結果（14.6%）の2倍弱（28.5%）に増加した。
- ・高齢社会の進展により、「買い物が不便な方のために、車に乗せて買い物に連れていく」が第2回アンケート調査結果（3.7%）の2倍弱（6.6%）に増加した。



■ 今回調査 (n=576) □ 第2回調査 (n=377)

図 11 取り組みへの参加や行動の現状（無回答を除いて集計）

※無回答者を除いて割合を集計。なお、今回調査の回答割合の多い順に並べている。

(参考)取り組みへの参加や行動の現状（無回答を含めて集計）

- ・参考に、無回答者も含めて割合を集計した結果を図に示す。今回調査の無回答者は 300 票（34.2%）、第 2 回調査の無回答者は 370 票（49.5%）である。そのため、無回答を含めて集計すると、今回調査は第 2 回調査に比べて、各項目の回答割合が高く集計される傾向にある。

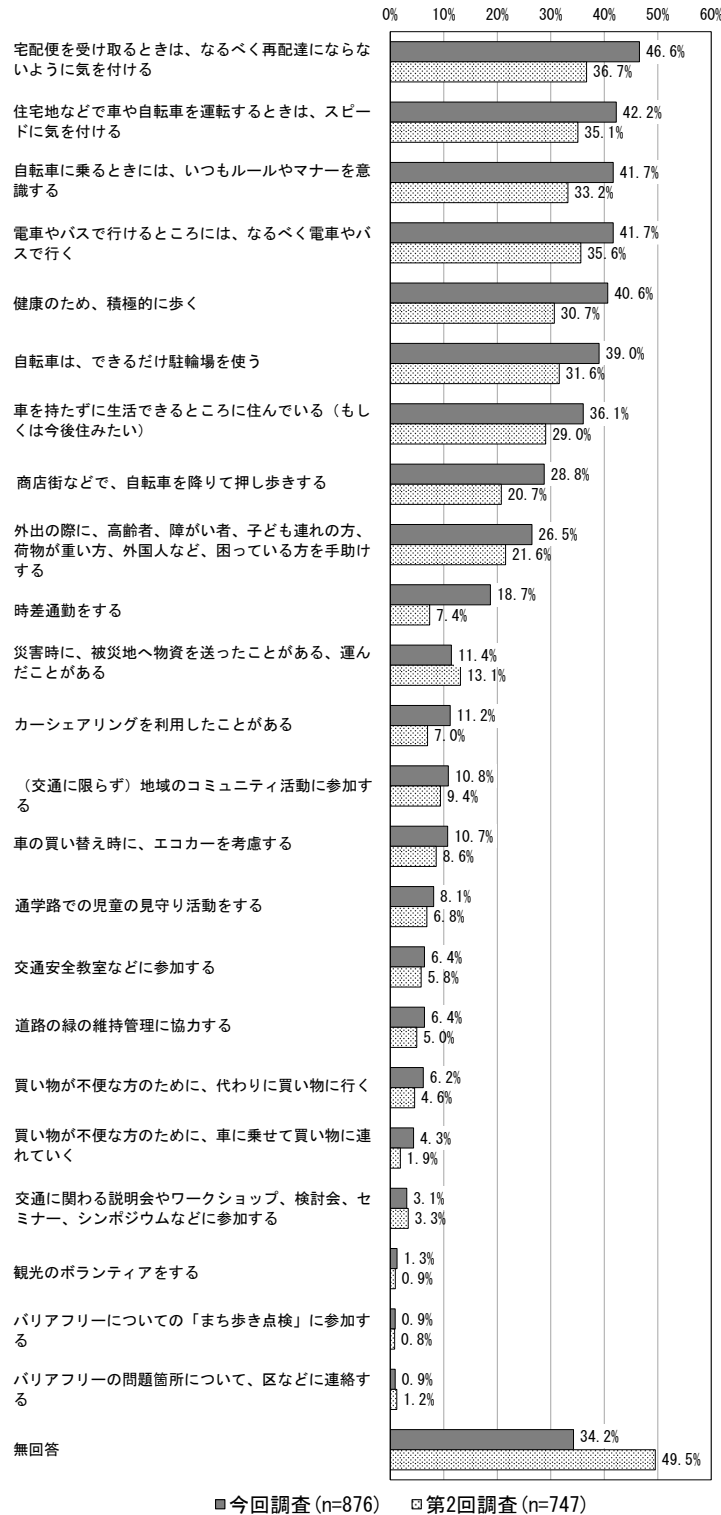


図 12 （参考）取り組みへの参加や行動の現状（無回答を含めて集計）

※無回答者も含めて割合を集計。なお、今回調査の回答割合の多い順に並べている。

## 2) 交通に関わる取り組みへの参加や行動への今後の参加意向

・第2回アンケート結果とおおむね同様の傾向である。

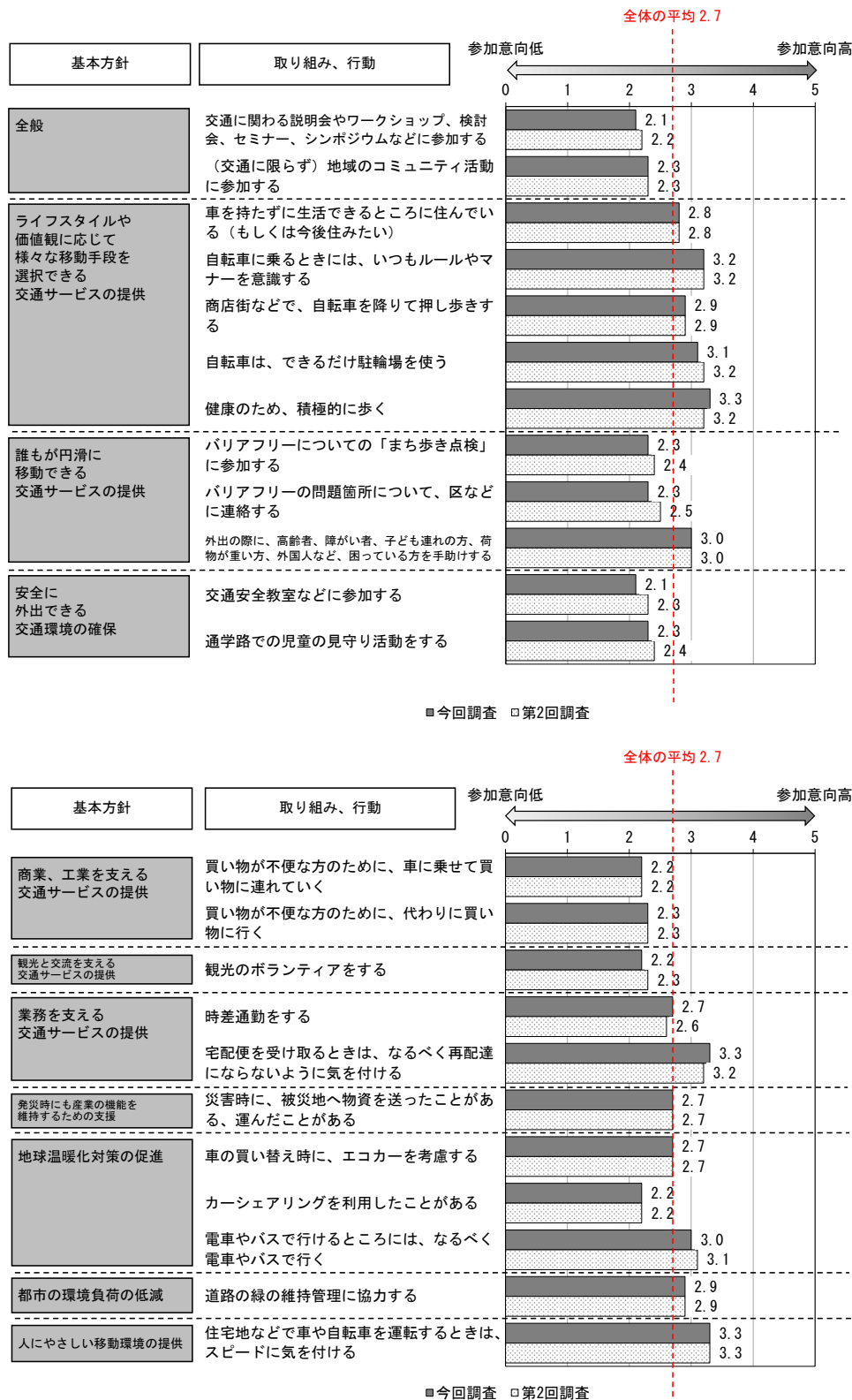


図 13 取り組みへの今後の参加意向の得点(上：全般、暮らし、下：都市の活力、環境)

※交通に関わる取り組みの得点 = (とても興味があるの回答者数 × 4点 + 興味があるの回答者数 × 3点 + あまり興味はないの回答者数 × 2点 + まったく興味はないの回答者数 × 1点) / 対象項目の回答者数 (わからない、無回答を除く)

## 6. まとめ

### 1) 区民アンケート結果の「施策の方向性」への反映の考え方

- ・現行計画に開催されているそれぞれの「施策の方向性」は、基本的に引き続き取り組みを進めるものとするが、区民アンケートの結果、さらに力を入れて取り組むことが望まれる「施策の方向性」として、以下のものが挙げられる（15 ページの表参照）。

#### ○取り組みの充実が特に必要

- ・【環境】 ヒートアイランド現象の改善

#### ○取り組みの充実が必要

- ・【暮らし】 自転車を利用する環境の充実
- ・【暮らし】 歩行者重視の道路空間づくり
- ・【都市の活力】 道路の防災性の強化
- ・【都市の活力】 公共交通の防災性の強化
- ・【環境】 交通手段の転換等による環境負荷の低減
- ・【環境】 歩行環境の改善
- ・【環境】 自転車を利用する環境の充実

#### ○取り組みの充実がやや必要

- ・【環境】 交通に関わる環境の保全対策

### 2) 区民アンケート結果の「リーディングプロジェクト」への反映

- ・リーディングプロジェクトを設定して、取り組みを進めてきた。
- ・アンケートの結果では、区として特に力を入れるべき取組として、全体の傾向は大きく変わらないが、中でも「誰もが円滑に移動できるまちづくりを進めます。」の回答割合が増加した。
- ・高齢化の進展より、現行計画策定時よりもさらに「誰もが円滑に移動できるまちづくりを進めます。」が求められていることがうかがえる。

### 3) 区民アンケート結果の「交通に関わる取り組みや行動（区民の参加）」への反映

- ・計画策定時に比べて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、「電車やバスで行けるところには、なるべく電車やバスで行く」は減少、「時差通勤をする」は増加していた。今後、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた新たな生活様式に移行した際の生活や行動の変化に、注意が必要である。
- ・「買い物が不便な方のために、車に乗せて買い物に連れていく」が増加していた。これは高齢化の進展が影響していると考えられるため、高齢者等の買い物等が不便な方のために、区民の共助も含め、生活の足の確保にさらに取り組んでいく必要がある。

この条件は、今後精査（見直し）予定です。

表 1 区民アンケート結果の「施策の方向性」への反映の考え方

目標	基本方針	施策の方向性	A	B	C	A、B、Cに該当	A、Bに該当	A（ただしBは該当しない）
			問5 施策の方向性の「満足度」と「重要度」 得点化し、全体・分野の平均得点に比べて重要度が高く、満足度が低いもの	問6 「特に重要」だと思う施策の方向性 得点化し、全体・分野の平均得点に比べて高いもの	(参考) 問5 施策の方向性の「重要度」の変化 第2回アンケート結果に比べ、施策の方向性の「重要度」の得点が2ポイント以上高いもの	アンケートによりさらに力を入れて取り組むことが望まれる「施策の方向性」 対応の分類		
			(資料1～3ページ参照)	(資料4～6ページ参照)	(資料7～9ページ参照)	・重要度が高く、満足度が低い。また、「特に重要」とされている。 ・さらに、第2回アンケート調査に比べて、「重要度」の得点が2ポイント以上高いもの。	・重要度が高く、満足度が低い。また、「特に重要」とされている。	・重要度が高く、満足度が低いもののうち、左記以外のもの。
						取り組みの充実が特に必要	取り組みの充実が必要	取り組みの充実がやや必要
暮らし	ライフスタイルや価値観に応じて様々な移動手段を選択できる交通サービスの提供	交通の連携による機能向上		○				
		公共交通（鉄道やバス）の機能向上		○				
		道路交通の機能向上			○			
		自転車を利用する環境の充実	○	○			○	
		歩行者重視の道路空間づくり	○	○			○	
	誰もが円滑に移動できる交通サービスの提供	誰もが暮らしやすいまちづくりの推進		○				
		子育て世帯の移動の支援			○			
	安全に外出できる交通環境の確保	道路整備による交通事故の抑制				○		
交通安全教育等による交通事故の抑制					○			
都市の活力	商業、工業を支える交通サービスの提供	商業に関わる交通環境の充実		○	○			
		工業に関わる交通環境の充実			○			
	観光と交流を支える交通サービスの提供	羽田空港と連携した観光の支援						
		生活交通と観光交通との連携の支援						
		外国人のための移動の支援						
		交通による交流の場の充実		○				
		水辺空間へのアクセス（交通の便）の強化						
	業務を支える交通サービスの提供	羽田空港へのアクセスの強化						
		公共交通（鉄道やバス）の機能向上		○				
		道路交通の機能向上			○			
		東京港へのアクセスの強化			○			
	発災時にも産業の機能を維持するための支援	道路の防災性の強化	○	○				○
		公共交通の防災性の強化	○	○				○
	環境	地球温暖化対策の促進	次世代自動車による環境負荷の低減					
交通手段の転換等による環境負荷の低減			○	○				○
都市環境への負荷の低減		ヒートアイランド現象の改善（都市の夏の気温を下げる）	○	○	○		○	
		交通に関わる環境の保全対策	○		○			○
人にやさしい移動環境の提供		生活道路への通過交通流入抑制			○			
		歩行環境の改善	○	○				○
		自転車を利用する環境の充実	○	○				○
災害に強いまちづくりへの交通の支援		公共交通に関わる防災性の強化						
		道路の防災性の強化		○				
		水上交通による防災性の強化			○			